

4 各種様式

様式は、鳥取県教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/127876.htm>



(様式1)

※文書番号
年 月 日

教育委員会教育長 様

校長
(公 印 省 略)

児童生徒の通級による指導について（申請）

下記の児童生徒について、_____の通級による指導を受けさせたいので、承認してくださるよう申請します。

記

児童生徒名	学年	学習上・生活上の困難の状況	通級による 指導 時間数 ※週当たり	入級 希望 年月日	指導開始 希望 年月日	備考 ※巡回 指導
			週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
			週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
			週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	

入級希望年月日…市町村教育委員会が通級による指導の措置を決定する予定日

指導開始希望年月日…実際に通級による指導を開始する予定日

(注1) 保護者の承諾書(様式7)を添付すること。

(注2) 巡回指導を希望する場合は、備考欄に○をつけること。

(様式1)

記入例

文書を発出した日
※市町村教育委員会において措置を検討・決定する期間が必要なため、早めに提出する。

※文書番号

令和〇年4月20日

(市町村) 教育委員会教育長 様

〇〇 校長

(公 印 省 略)

児童生徒の通級による指導について (申請)

プルダウンから選択

下記の児童生徒について、県立鳥取聾学校ひまわり分校の通級による指導を受けさせたいので、承認して下さるよう申請します。

「文書を発出した日」より7日程度後

「入級希望年月日」以降

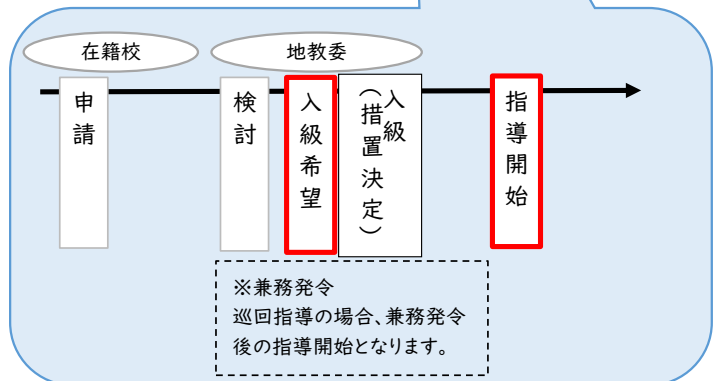
児童生徒名	学年	学習上・生活上の困難の状況	通級による指導 時間数 ※適当たり	入級希望 年月日	指導開始希望 年月日	備考 ※巡回指導
〇〇 〇〇	3	ラ行とダ行に混濁があり、発音が不明瞭である。	週当たり (1) 時間	令和〇年 5月10日	令和〇年 5月14日	
		感情のコントロールや他者の意思を理解することが難しく、他者とトラブルになったり、嫌な思いを持ち続けてしまい切り替えが難しい。	週当たり (1.5) 時間	令和〇年 5月10日	令和〇年 5月20日	○
		巡回指導の場合 兼務申請が承認されるまでに必要な日数を考慮し、「入級希望年月日」の10日以上後とすること				

入級希望年月日…市町村教育委員会が通級による指導の措置を決定する予定日

指導開始希望年月日…実際に通級による指導を開始する予定日

(注1) 保護者の承諾書(様式7)を添付すること。

(注2) 巡回指導を希望する場合は、備考欄に○をつけること。



鳥取県教育委員会教育長 様

教育委員会教育長
（公印省略）

児童生徒の通級による指導について（通知）

下記の児童生徒について、_____の通級による指導を受けさせたいので、承認して下さるよう申請します。

記

児童生徒名	学年	①学習上・生活上の困難の状況	通級による指導 時間数 ※週あたり	入級 年月日	指導開始 年月日	備考 ※巡回指導
		②入級の経緯				
		① ----- ②	週あたり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
		① ----- ②	週あたり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
		① ----- ②	週あたり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	

入級年月日…市町村教育委員会が通級による指導の措置を決定した日

指導開始年月日…実際に通級による指導を開始する期日

（注1）通級による指導を受ける児童生徒の教育課程（様式3及び様式3別紙）の写し、保護者の承諾書（様式7）の写しを添付すること。

（注2）通級による指導時間は、週あたりの時間数のみを記載すること。

（注3）入級の経緯については、指導開始決定に至る理由について記載すること。

鳥取県教育委員会教育長 様

(市町村) 教育委員会教育長
(公 印 省 略)

児童生徒の通級による指導について (通知)

ブルダウンから選択

下記の児童生徒について、県立鳥取聾学校ひまわり分校の通級による指導を受けさせたいので、承認して下さるよう申請します。

「文書を発出した日」以降

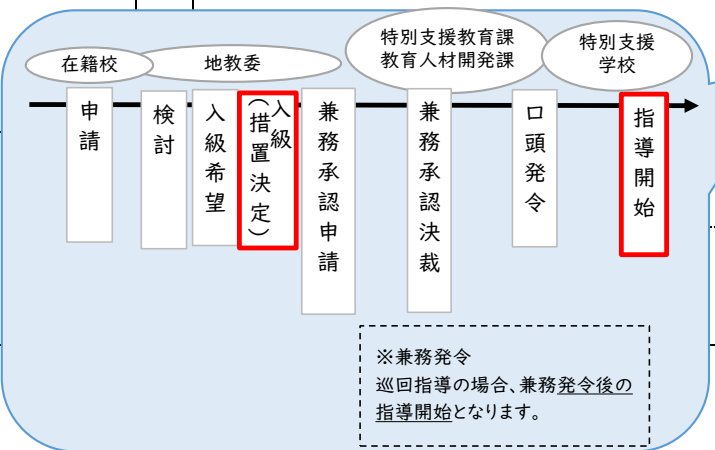
「文書を発出した日」より前

ブルダウンから選択

児童生徒名	学年	①学習上・生活上の困難の状況	通級による指導 時間数 ※週当たり	入級 年月日	指導開始 年月日	備考 ※巡回 指導
		②入級の経緯				
〇〇 〇〇	3	① ラ行とダ行に混濁があり、発音が不明瞭である。 ② 発音の不明瞭さについて鳥取聾学校やLD等専門員の教育相談を受け、聴力検査等も実施した。音の聞き分けや発音練習が個別に必要と判断し入級と決定した。	週当たり (1) 時間	令和〇年 5月10日	令和〇年 5月14日	
		① 感情のコントロールや他者の意思を理解することが難しく、他者とトラブルになったり、嫌な思いを持ち続けてしまい切り替えが難しい。 ② 在籍学級でも分かりやすく状況を伝える等の配慮をしているが、自他の気持ちについて整理したり、状況に合わせた対処法について個別の場で具体的なスキルについて学ぶことが必要と判断したため。	週当たり (1.5) 時間	令和〇年 5月10日	令和〇年 5月20日	○
			週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	

ブルダウンから選択

巡回指導の場合は、兼務発令が承認されるまでに必要な日数を考慮し、「入級年月日の10日以上後とすること



入級年月日…市町村教育委員会が通級による指導の措置を決定した日
指導開始年月日…実際に通級による指導を開始する期日

(注1) 通級による指導を受ける児童生徒の教育課程(様式3及び様式3別紙)の写し、保護者の承諾書(様式7)の写しを添付すること。

(注2) 通級による指導時間は、週あたりの時間数のみを記載すること。

(注3) 入級の経緯については、指導開始決定に至る理由について記載すること。

様

教育委員会教育長
(公 印 省 略)

児童生徒の通級による指導について (通知)

下記の児童生徒について、 の通級による指導を
受けさせたいので、承認してくださるよう申請します。

記

児童生徒名	学年	①学習上・生活上の困難の状況	通級による 指導 時間数 ※週当たり	入級 年月日	指導開始 年月日	備考 ※巡回 指導
		②入級の経緯				
		① ----- ②	週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
		① ----- ②	週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
		① ----- ②	週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	

色付きセルは (様式 2 - 1) から自動転記
入級年月日…市町村教育委員会が通級による指導の措置を決定した日
指導開始年月日…実際に通級による指導を開始する期日

(注1) 通級による指導を受ける児童生徒の教育課程 (様式 3 及び様式 3 別紙) の写し、保護者の承諾書 (様式 7) の写しを添付すること。

(注2) 通級による指導時間は、週あたりの時間数のみを記載すること。

(注3) 入級の経緯については、指導開始決定に至る理由について記載すること。

(様式 2 - 2)

記入例

※文書番号

年 月 日

プルダウンから選択

様式 2 - 1 に入力すると自動転記

教育委員会教育長

(公 印 省 略)

児童生徒の通級による指導について (通知)

下記の児童生徒について、
受けさせたいので、承認して下さるよう申請します。

の通級による指導を

様式 2 - 1 に入力すると自動転記

記

児童生徒名	学年	①学習上・生活上の困難の状況	通級による指導 時間数	入級 年月日	指導開始 年月日	備考 ※巡回指導
		②入級の経緯	※週当たり			
〇〇 〇〇	3	ラ行とダ行に混濁があり、発音が不明 ① 瞭である。	週当たり (1) 時間	令和〇年 5月10日	令和〇年 5月14日	
		発音の不明瞭さについて鳥取聾学校やLD等専門員の教育相談を受け、聴力検査等も実施した。音の聞き分けや発音練習が個別に必要と判断し入級と決定した。				
		感情のコントロールや他者の意思を理解することが難しく、他者とトラブル ① になったり、嫌な思いを持ち続けてしまい切り替えが難しい。	週当たり (1.5) 時間	令和〇年 5月10日	令和〇年 5月20日	○
		在籍学級でも分かりやすく状況を伝える等の配慮をしているが、自他の気持ちについて整理したり、状況に合わせた対処法について個別の場で具体的なスキルについて学ぶことが必要と判断したため。				
		①	週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
		②				

学校長 様

教育委員会教育長
(公 印 省 略)

児童生徒の通級による指導について (通知)

年 月 日付 (文書番号) _____ で申請のあった _____ の
通級による指導を受ける児童生徒について、下記の通り通知します。

記

児童生徒名	学年	学習上・生活上の困難の状況	通級による 指導 時間数 ※週当たり	入級 年月日	指導開始 年月日	備考 ※巡回 指導
			週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
			週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	
			週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	

色付きセルは (様式2-1) から自動転記
入級年月日…市町村教育委員会が通級による指導の措置を決定した日
指導開始年月日…実際に通級による指導を開始する期日

(様式2-3)

記入例

※文書番号

年 月 日

(在籍学校) 校長 様

様式2-1に入力すると自動転記

〇〇 教育委員会教育長
(公印省略)

児童生徒の通級による指導について (通知)

年 月 日付 (文書番号) で申請のあった
通級による指導を受ける児童生徒について、下記の通り通知します。

様式2-1に入力すると自動転記

記

児童生徒名	学年	学習上・生活上の困難の状況	通級による 指導 時間数 ※週当たり	入級 年月日	指導開始 年月日	備考 ※巡回 指導
〇〇 〇〇	3	ラ行とダ行に混濁があり、発音が不明瞭である。	週当たり (1) 時間	令和〇年 5月10日	令和〇年 5月14日	
		感情のコントロールや他者の意思を理解することが難しく、他者とトラブルになったり、嫌な思いを持ち続けてしまい切り替えが難しい。	週当たり (1.5) 時間	令和〇年 5月10日	令和〇年 5月20日	○
			週当たり () 時間	令和 年 月 日	令和 年 月 日	

色付きセルは (様式2-1) から自動転記

入級年月日…市町村教育委員会が通級による指導の措置を決定した日

指導開始年月日…実際に通級による指導を開始する期日

(様式2-4)

※文書番号
年 月 日

(保護者) 様

(市町村) 教育委員会
教育長 ●●●●
(公 印 省 略)

児童生徒の _____ の通級による指導について (通知)

このことについて、下記のとおり通知します。

記

児童生徒名	
在籍学校名	
学年	第 学年
通級による指導の 曜日・時間	曜日・
入級年月日	

(様式3)

※文書番号

年 月 日

教育委員会教育長 様

校長

(公 印 省 略)

_____の通級による指導を受ける児童生徒の
教育課程について (届出)

このことについて、別紙のとおり届出ます。

(様式3)

様式1に入力すると自動転記

教育委員会教育長 様

※文書番号

年 月 日

様式1に入力すると自動転記

校長

(公 印 省 略)

様式1に入力すると自動転記

の通級による指導を受ける児童生徒の

教育課程について (届出)

このことについて、別紙のとおり届出ます。

通級による指導に伴う教育課程

学校教育法施行規則第140条の規定により、下記児童生徒の _____ の
通級による指導に伴う教育課程を届出ます。

校長

(公 印 省 略)

1. 通級による指導を受ける児童生徒

氏名 _____

学年 _____

2. 教育課程 (年間授業時数)

在籍学級の教育課程 (_____ に自立活動を加えて _____ の一部を自立活動に替えて)、

特別の教育課程を編成する。 ※ ○ で囲むこと。

※自立活動を加える…放課後に通級指導を受ける場合

※一部を自立活動に替える…授業時間内の教科等の時間に通級指導を受ける場合

	教科等名 ※自立活動に替える教科等名と時数	自立活動 ※通級による指導の指導予定時間数
自立活動を加える場合		年間 () 時間
自立活動に替える場合	教科等名 ()	年間 () 時間
	年間 () 時間 ※自立活動の時間数を除いた時間数	

	自立活動
指導目標	
曜日 (毎週・隔週)	() 曜日・(毎週・隔週) ※ ○ で囲むこと。
校時	
主な指導内容	

(様式 3 別紙)

記入例

通級による指導に伴う教育課程

学校教育法施行規則第 140 条の規定により、下記児童生徒の 県立聾学校ひまわり分校 の通級による指導に伴う教育課程を届出ます。

〇〇〇 校長
(公 印 省 略)

1. 通級による指導を受ける児童生徒

氏名 〇〇 〇〇
学年 3 年

2. 教育課程 (年間授業時数)

在籍学級の教育課程 (に自立活動を加えて ・ の一部を自立活動に替えて)、

特別の教育課程を編成する。 ※ 　 で囲むこと。

- ※自立活動を加える…放課後に通級指導を受ける場合
- ※一部を自立活動に替える…授業時間内の教科等の時間に通級指導を受ける場合

※通級による指導を授業時間から放課後まで実施する場合には、両方を○で囲みます。

	教科等名 ※自立活動に替える教科等名と時数	自立活動 ※通級による指導の指導予定時間数
自立活動を加える場合		年間 () 時間
自立活動に替える場合	教科等名 (国語) 年間 (<u>210</u>) 時間 ※自立活動の時間数を除いた時間数	年間 (<u>35</u>)

※通級による指導を授業時間から放課後まで実施する場合には、両方の欄に記入します。

自立活動を加える場合		年間 (<u>17.5</u>) 時間
自立活動に替える場合	教科等名 (国語) 年間 (<u>210</u>) 時間 ※自立活動の時間数を除いた時間数	年間 (<u>35</u>) 時間

在籍校の教育課程実施計画において設定している年間時数を基に計算をします。

(例) 3年 国語:年間245時間
210(国語)+35(自立活動)=245

各教科等	各教科・領域	1年	2年	3年	4年
国語	〇国語を正確に理解し、表現する力や伝え合う力を育てるとともに、国語に対する関心を深め、思考力や想像力及び言語能力の育成を図る。	306 (8)	315 (9)	245 (7)	245 (7)

	自立活動
指導目標	・発音の基礎となる口形や舌の運動や自身の発音を聞き分ける力を育て、 発音の不明瞭さを改善する。
曜日(毎週・隔週)	(木) 曜日・ <u>(毎週・隔週)</u> ※ <u>　</u> で囲むこと。
校時	5 校時
主な指導内容	・口形の習得や舌の運動 ・発音を聞き分ける活動

(様式4)

※文書番号
年 月 日

(市町村) 教育委員会教育長 様

〇〇 校長
(公 印 省 略)

_____の通級による指導の終了について (申請)

下記の児童生徒の通級による指導の終了について申請します。

記

児童生徒名	
在籍学校名	
学年	第 学年
通級による指導の 終了希望年月日	
通級による指導の 終了の事由	
兼務解除申請の有無 (※ <u>兼務発令期間より早く終了する 場合に提出が必要</u>)	有・無
備考	

(注1) 備考欄には、今後の指導で配慮すべき点等を記入すること。

(注2) 兼務解除申請の有無については、県立特別支援学校の通級による指導担当者と確認の上、分かり次第速やかに提出すること

(様式5-1)

※文書番号
年 月 日

鳥取県教育委員会教育長 様

(市町村)教育委員会教育長
(公印省略)

_____の通級による指導の終了について(申請)

下記の児童生徒について、_____の通級による指導を終了したので通知します。

記

児童生徒名	在籍学校名	学年	通級による指導の終了の事由

(注1) 兼務発令期間が予定どおり終了する場合、兼務解除申請(様式8)は不要。

(注2) 兼務解除が必要な場合(16ページ参照)には、(様式8)を提出すること。

(様式5-2)

※文書番号

年 月 日

プルダウンから選択

様

様式5-1に入力すると自動転記

(市町村) 教育委員会教育長

(公印省略)

様式5-1に入力すると自動転記

の通級による指導の終了について (通知)

下記の児童生徒について、 _____ の通級による指導を終了したので通知します。

様式5-1に入力すると自動転記

記

児童生徒名	在籍学校名	学年	通級による指導の 終了年月日	通級による指導の 終了の事由
			年 月 日	
			年 月 日	
			年 月 日	

色つきセルは (様式5-1) から自動転記

(様式5-3)

※文書番号
年 月 日

(在籍学校長) 様

様式5-1に入力する
と自動転記

(市町村) 教育委員会教育長
(公印省略)

様式5-1に入力する
と自動転記

の通級による指導の終了について (通知)

様式5-1に入力する
と自動転記

下記の児童生徒について、
終了したので通知します。

の通級による指導を

記

児童生徒名	学年	通級による指導の 終了年月日	通級による指導の 終了の事由	備考
		年 月 日		
		年 月 日		
		年 月 日		

色つきセルは (様式5-1、5-2) から自動転記

※備考欄には、今後の指導で配慮すべき点等を記入すること。

(保護者) 様

(市町村) 教育委員会
教育長 ●●●●
(公 印 省 略)

児童生徒の _____ の通級による指導について (通知)

このことについて、下記のとおり通知します。

記

児童生徒名	
在籍学校名	
学年	第 学年
通級による指導の 終了年月日	年 月 日
通級による指導の 終了の事由	
備考	

※備考欄には、今後の指導で配慮すべき点等を記入すること。

(様式6)

※文書番号
年 月 日

鳥取県教育委員会教育長 様

(市町村) 教育委員会教育長
(公 印 省 略)

兼 務 承 認 申 請 書

下記のとおり兼務をお願いしたいので、承認して下さるよう申請します。

記

1 兼務対象職員の本務学校名・職・氏名

2 兼務学校名

3 勤務の内容

当該児童生徒名			
学年			
主な指導内容			
指導時間等	曜日・()校時 (時 分～ 時 分)	曜日・()校時 (時 分～ 時 分)	曜日・()校時 (時 分～ 時 分)
兼務発令期間	年 月 日 ～ 年 月 日		

※「兼務発令期間」の開始日は、様式2-1の「指導開始年月日」と同一とすること。

※「兼務発令期間」が児童生徒によって異なる場合には、別文書として提出すること。

※兼務承認申請書は、指導開始年月日の7日前までに教育人材開発課必着。

(兼務が承認されてから指導を開始すること。)

(様式7)

保護者承諾書

年 月 日

保護者氏名 (自署)

の通級による指導を受けることを承諾します。

1. 児童生徒名 (ふりがな)

()

2. 学校名・学年

学校名：

学年： 第 学年

3. 住所・連絡先電話番号

住所：

電話番号：

4. 指導形態

他校通級 ・ 巡回による指導

※どちらかを○で囲むこと

(様式8)

※文書番号
年 月 日

鳥取県教育委員会教育長 様

(市町村) 教育委員会教育長
(公 印 省 略)

兼 務 解 除 申 請 書

下記のとおり兼務の解除を願いたいので、承認して下さるよう申請します。

記

1 兼務対象職員の本務学校名・職・氏名

2 兼務学校名

3 解除事由

4 兼務解除日 (※発令済兼務期間)

年 月 日

(※発令済兼務期間： 年 月 日 ～ 年 月 日)

※兼務解除日は通級による指導の最終日以降とする。

※教育人材開発課において決裁後に兼務解除となるため、巡回による指導の終了が
分かり次第速やかに提出すること。

(様式8)

記入例

※文書番号
令和〇年1月28日

鳥取県教育委員会教育長 様

文書を発出する日
※兼務解除日まで7日以上あると望ましい

〇〇 教育委員会教育長
(公 印 省 略)

兼 務 解 除 申 請 書

下記のとおり兼務の解除を願いたいので、承認して下さるよう申請します。

記

1 兼務対象職員の本務学校名・職・氏名

2 兼務学校名

3 解除事由

音の聞き取りの改善や発音の不明瞭が改善され、コミュニケーションがスムーズになり主訴が改善されたため。

4 兼務解除日 (※発令済兼務期間)

令和〇年1月20日

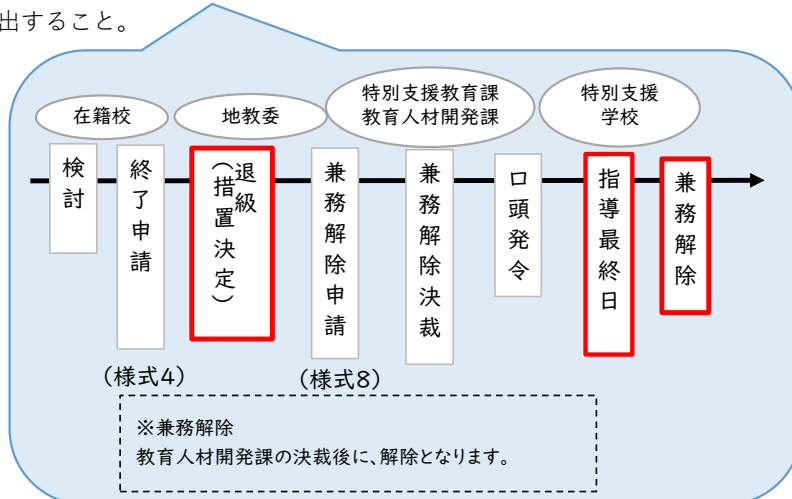
「文書を発出した日」以降

(※発令済兼務期間：令和6年5月20日～令和7年2月28日)

入級時の兼務承認申請書の手続きにより既に発令されている期間

※兼務解除日は通級による指導の最終日以降とする。

※教育人材開発課において決裁後に兼務解除となるため、巡回による指導の終了が分かり次第速やかに提出すること。



〈発行〉 鳥取県教育委員会事務局特別支援教育課

住 所 〒680-8570 鳥取市東町一丁目271

電 話 (0857) 26-7574

ファクシミリ (0857) 26-8101

本手引は、鳥取県教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/127876.htm>

